

子育て中の皆さんこそ、一番国を思い、地域を守る方々です



元内閣総理大臣
全日本私立幼稚園PTA連合会
最高顧問 森 喜朗

こんにちは。選挙前にもかかわらず、今日もこうして国会議員の方々がたくさん来てくださいました。今年で32回目を迎えたこの大会を、私は最初から見えています。私が大会の創案者だからです。

最初は、毎年12月の予算編成時期の前に大会を実施し、厳しい私学予算の中、幼稚園の予算が少しでも増えるように応援するのが目的でした。私立幼稚園、公立幼稚園、それに保育所があり、幼保一体化というテーマも取り上げました。そのうちに認定こども園が出てきました。今は幼稚園、保育所、こども園の三つがある時代です。これも新たなテーマとして考えなくてはなりません。

私は昭和44年、約50年前に国会議員になりましたが、その最初の年から地元石川県の私立幼稚園PTA会長をしています。孫たちはすでに幼稚園を卒園してしまいましたが、今も会長をしています。石川県は保育所が多い県ですが、幼稚園は少なく、私の選挙区に私立幼稚園は12、3園しかありません。ですから、私自身の選挙のためにPTAの会長をしているわけではありません。純粋に幼稚園が好きなんです。私立幼稚園こそ本当の子どもの教育ができると思いつつ、50年間、私立幼稚園を応援してきました。

私は今、オリンピック組織委員会の仕事をしていますので、機会あるごとに国歌「君が代」をもっと大事にしなければいけないと呼びかけています。オリンピックの

要綱にも日本選手団は国旗に向かって礼をし、正しい姿勢で国歌を歌わなければならないと記されています。世界中のスポーツ選手は皆、オリンピックで必ず国歌を歌います。日本の選手も日本中の人、世界中の人がテレビを見ているのです。しっかりと口を開いて国歌を歌わなければならないと何度も言ってきました。

そうした国歌斉唱の場面で大きな声で歌っている人は、きっとしっかりとした幼児教育を受けた人だと私は思っています。「歌は元気に歌いましょう。先生と一緒に大きな声で歌いましょう」と、いつも先生から言われてきたことが身についていると思うからです。そういう指導、教育を一生懸命やっているのが私立幼稚園です。だから日本には私立幼稚園が必要なんです。

先ほどは安倍総理がお見えになられて幼稚園と家庭、地域が連携協力することの大切さを話されました。子育て中の若いお母さんこそ、一番に国を思い、地域を守っている方々です。我が子が生きていく国であり、地域だからです。そんな皆さんを支援するため、昨今では「幼児教育無償化」が大きな政治テーマとなっています。ただ、本当に無償化していいのか、という気持ちが私にはあります。親が一生懸命働いたお金で子どもに教育を受けさせるからこそ、教育は尊いと思うからです。そういう気持ちもくみ取った無償化政策であってほしいと願っています。